



芝山小だより



2月号
清瀬市立芝山小学校
校長 寺井 俊敬
<http://www.kiyose.ed.jp/>



いい顔で、優しい気持ちで

いい顔で、優しい気持ちで



副校長 本間 章郎

朝晩の冷え込みが一層厳しくなり、冷たい風に、つい身体をかがめてしまいがちですが、子供たちは寒さに負けず、元気に過ごしています。

先日の土曜授業公開日には、多くの保護者の方々にご参観いただき、誠にありがとうございました。子供たちが友達とかかわり合いながら学習に向い、頑張っている姿に、励ましの言葉を掛けていただいたことと思います。

さて、これは、ある新聞記事として載っていた内容について、以前に聞いた話です。

『青年が、ある施設にいる凶暴な犬を訓練することになりました。その犬は、飼い主にたくさんぶたれたり、餌を与えられなかったりしたために、人間を信用しなくなり、とても凶暴になってしまったのです。その青年は、激しく吠える凶暴な犬に対して、恐ろしいので、どうしても、怖い顔をして世話をしていました。犬に「ウー、ワンワン！」と牙をむいて吠えられる、そんな日々が続きました。毎日毎日、一生懸命世話をするのですが、なかなか犬はなついてくれません。あまりにも犬がなついてくれないので、青年は世話をするのが、ばかばかしくなってきました。しかし、そんなある日、自分が怖い顔や態度で犬の世話をしているから、犬が吠えるのだと気が付きます。犬も表情や声の大きさ、様子から人間の心が分かるのでしょうか。まして、人間を信用していない犬です。そこで、青年は笑顔を作り、改めて優しい気持ちで犬に接しました。笑顔で心を込めて粘り強く世話を続けました。しばらくすると、なんと、あれだけ荒れていた犬が、青年にすっかりなつくようになってきました。』

誰にでも、気の合う人がいれば、時にそうでない人もいます。友達の中には「あまり仲良くなれない」「けんかをしてしまうことが多いな」と感じる人がいるかも知れません。そんな時、友達と接している自分の顔は、少し怖い顔になっているかも知れません。そのような友達にも、いい顔で、優しい気持ちで接すると相手も自分を好きになってくれます。**いい顔で、優しい気持ち**がよりよい友達関係につながります。

子供たちは、日々、互いに学び合い、協力し合って過ごしています。その中で、自分のよさを自覚したり、自他の違いを認めたりしながら、自分と同じように他者を大切に思う心情を育み、社会性やかかわる力を身に付けていきます。

芝山小学校の子供たちが、互いにかかわり合いながら、これからもよりよい人間関係を築くことができるよう、教職員一同、子供たちを支えて参りたいと思います。



<校庭の芝生>

今は休眠期です。
2月末頃から発芽等の準備が始まり、4月からは美しい緑色に少しずつ育ってきます。

<2月「ふれあい月間」>

今年度3回目のふれあい月間を実施します。子供たちが、「学校生活で困っていること」や「悩んでいること」などについて、教員による日々の観察や指導に加えて、アンケートを通して聞き取ります。困り事や悩み事を把握することで、一人一人への支援、指導を行うとともに、いじめ等の未然防止や早期発見につなげて参ります。